

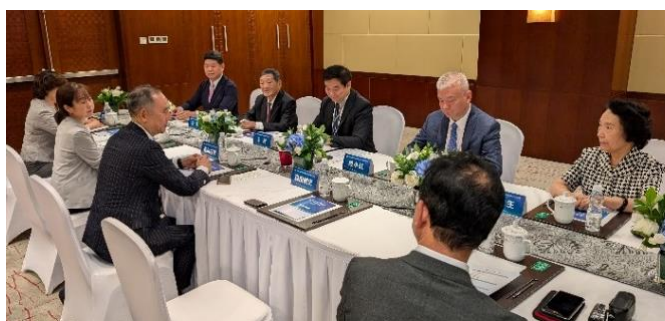
中国出張 9月11日～13日



11日～13日に塩川理事長、森田理事、川瀬参与、莎日娜表示・規格グループ長が、7月31日に業務を休止した北京事務所の事情を説明するため、北京の関係先を訪問しました。

11日に駐中国日本大使館を訪問し、金杉大使、横地首席公使、真島参事官らとお会いしました。当方から中国における協会の技術交流の歴史について説明し、大使からは最近の中国社会・経済の状況について説明がありました。

次に、中国出入境検験検疫協会（CIQA）の王会長、段副会長らとお会いしました。CIQAは、1990年に設立された国家市場監督管理総局の傘下の組織で、検査・分析機関、動植物製品、食品、工業製品の製造会社や商社、越境電子商取引、電子商取引プラットフォーム企業などの2,000の会員から成っています。今回、分析技術の向上及び人材育成等の分野において協力を実施することで合意し、覚書を締結しました。



中国出入境検験検疫協会（CIQA）との調印の様子

12日の午前中国質量認証センター（CQC）を訪問し、周部長らとお会いしました。有機食品の認証について、有意義な意見交換ができました。

次に、中糧集团有限公司（COFCO）を訪問し、趙総経理、黎国際部総経理らとお会いし、来日した時にもお会いしているので、和やかな雰囲気意見交換ができました。COFCOとは引き続き連携していくことで合意しました。

午後中国検疫科学研究院（CAIQ）を訪問し、李院長、李食品安全研究所長らとお会いしました。CAIQは食品安全、動物検疫、植物検疫、衛生検疫、化学品安全、工業消費安全、HACCPなど10の研究所からなる全国的な政府組織で、900人の研究職員、460人の地方職員で構成されています。会談に先立ち、施設見学をしましたが、協会の分析機器に劣らない最新の機材が多く配置されていました。

その後、意見交換を行い、協会の新研究所が完成したら、ぜひ見に来てほしいと伝えました。また、庞院士とお会いすることができ、自署した高著をいただきました。



中国検疫科学研究院（CAIQ）の施設見学



CAIQ 李文濤院長より記念品を受贈

今回の訪中は天気に恵まれ、清々しく乾燥した陽気が続きとても快適でした。また、行く先々に温かい歓迎を受け、協会が長年行ってきた技術交流により深い信頼関係を築かれていることを改めて実感することができました。先人の方々のご努力に深く感謝申し上げます。